

令和5年度 6学年授業改善プラン

大田区立矢口小学校

1. 昨年度の授業改善プランの検証

【国語】基礎的な言語能力の定着は進んでいるが、「書く」表現力について力を付ける必要がある。

【社会】資料から必要な情報を正確に読み取る読解力に課題がある。

【算数】ICT 機器や具体物の活用を単元に応じて工夫したが、まだ理解が不十分な児童が一部にいる。
また、四則演算を中心とした基礎的な計算力が一部の児童はまだ定着していない。

【理科】根拠のある予想を立てたり、問題の解決方法を考え、叙述したりすることができるようになってきたが、実験結果やグラフの読み取りが苦手な児童が多い。

2. 大田区学習効果測定の結果

教科	国語			社会			算数			理科			外国語(英語)		
全体	◆			▽			◆			▽			◆		
観点別	◆	◆	◆	▽	▽	▽	▽	◎	◎	▽	▽	▽	◆	◆	◆
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

◎ 正答率平均が目標値を上回った教科・観点

◆ 正答率平均が目標値と同程度の教科・観点

▽ 正答率平均が目標値を下回った教科・観点

3. 各教科の授業改善プラン

(1) 国語・社会・算数・理科

【国語】授業全般で自分の意見や考えを表出できるよう、意見文や感想文を書く活動をより充実させることに加え、振り返り等で書く習慣をより定着させていく。また、漢字の基礎的な事項に加え、段落分けや接続語など、文章をわかりやすく表現するための知識を身に付け、書きたいことがわかりやすく伝わるように指導を行う。

【社会】社会的用語を正しく押さえた上で、政治・国際編では、政治を自分事として捉えさせ、有権者としての自覚を促すような授業展開を心がける。歴史編では、時代ごとの大きな流れを理解させ、歴史を自分事として捉えさせるために、ご先祖様との接点を考えさせる。また歴史上の偉人の伝記や辞世なども紹介し、生き方や想いにふれるようにする。

【算数】基礎・基本的な学習習慣をつけることができるよう、日々の授業で丸付け、解きなおしの習慣を身に付ける。四則演算を中心とした、基礎・基本的な計算問題を教科書やタブレット学習等で繰り返し行い、学習事項の定着を図る。

【理科】科学的思考を働かせて問題解決を行えるよう、生活と関連付けた予想、比較、関連付け、条件を制御するなどし、多面的に考えられるよう授業改善を図る。児童が、内容領域ごとの視点を理解し、知識・技能を習得できるよう、実験を通した体験学習の充実を図ることや単元終了後も繰り返しプリント等で復習を行う。

【英語】 自信をもって英語表現できるように、単語や表現の仕方をALTと繰り返し練習する場を毎時間必ず設定したり、あいさつや気持ちを表す表現を話せるように授業の始めの活動をパターン化したりする。一人一人が授業に参加できるように、ゲーム活動を取り入れるなど学習形態を工夫する。

(2) 音楽・図画工作・体育

【音楽】 ㊟

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆一人一人の実技における技能の差が見受けられる。 ○協働学習の場面を多く取り入れることによって、各自の技能を伸ばす。鑑賞・音楽づくりではICT機器を活用する。	◆既習事項を生かした発展的な発想を広げていきたい。 ○豊かな発想を学習に結び付けていく内容を取り入れていく。	◆個人の学習成果を協働的学習に活用する必要がある。 ○学級・学年全体で取り組む内容を増やすことで、学習意欲を高める。ICTを活用した自己評価を繰り返す。

【図画工作】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆一人一人の実技における技能の差が見受けられる。 ○実技の指導時にICT機器を活用し視覚的に分かりやすい指導を行う。また、児童の振り返りシートを活用し見通しを持たせる。	◆発想力や表現力の差が見受けられる。 ○今までに学んだ表現方法を深めたり組み合わせたりと、よく考えて作品作りに取り組めるよう、題材の選定や、ワークシートの活用をする。	◆領域により、苦手意識を感じている児童が見受けられる。 ○作品の完成後に行う鑑賞の時間を取り、自他の作品の良さや作品に込められた思いを知り、一人一人が作りだす喜びを味わう機会にする。

【家庭科】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆袋物の作成にあたって、学習の見通しをもつことが難しい。 ○振り返りシートなどを活用し、見通しをもたせる。	◆袋物の作成にあたって、問題を見だし、課題を設定させることが難しい。 ○グループワークを活用し、様々な解決方法を見いださせる。	◆家族の一員として、生活をより豊かにするための袋物の製作に対して意欲を高めさせたい。 ○実体験を十分に振り返らせる。
備考 調理実習は「大田区立学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に準ずる。		

【体育】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆一人ひとりの技能の差が大きくなってきた。 ○自分の動きを客観的に捉えられるよう、ICT機器を活用する。また、保健の知識の確実な習得をめざし、テスト8割未満は再テストを実施する。	◆めあての設定レベルが自分に合っていない児童が見られる。 ○児童の個々の実態に合っためあてが立てられていたかどうか、振り返りを毎時間必ず行う。	◆運動領域により、苦手意識を感じている児童が見受けられる。 ○個別最適な学びを行い、様々な運動に親しみながら体力の向上が図れるように、ICT機器を活用する。